

企画展

観覧
無料

第23回企画展

立山をめぐる 山岳ガイドたち

Mountain Guides of Tateyama

2009.7.25 sat. - 9.13 sun.

立山・剣岳に標された数々の登山記録。
その陰には、登山者を支える山岳ガイドの姿がありました。



立山や立山カルデラにおける地元山岳ガイドの活躍には顕著なものがありますが、あまり知られていないのが現状です。そこで、彼らの業績に焦点をあて、当時の立山の様子とともに詳しく紹介します。

シンポジウム (特別展関連イベント)

安政の飛越地震(1858)から学ぶ

中央審議会報告書をひもとき、今後の地震への備え、地域防災力の向上には何をすべきか、会場を交えて議論します。

●コーディネータ

伊藤 和明(防災情報機構会長・当館名誉館長)

●パネリスト

竹内 章 (富山大学大学院教授)

井上 公夫(財団法人砂防フロンティア整備推進機構参与・技師長)

高野 靖彦(富山東高等学校教諭)

岡本 正男(社団法人全国治水砂防協会理事)

■日 時 / 9月27日(日) / 13:30~16:00

■場 所 / 富山国際会議場 2階 多目的会議室

■申 込 / 不要(自由参加)

フィールドウォッチング

「室堂山・浄土山と 立山カルデラ展望」

室堂山を自然観察しながらゆつくり登り、立山カルデラを展望します。

■ 9月6日(日) 9:00~16:00

■ 集合 県庁前 8:00 博物館前 9:00

■ 解散 県庁前 17:00 博物館前 16:00

■ 参加料 (バス代) 大人 3,000円
小学生 1,500円

■ 定員 30名 (先着順)

お問い合わせ 電話またはFAXにて TEL: (076) 481-1363 FAX: (076) 482-9101

特別展

観覧
無料

「市中破壊地図、大震動/飛越地震の図」地下水記録所蔵(立山国立公園事務所)

安政年間に編纂された地誌とその地誌を基に作成された飛越地震の被害状況をまとめた図。

特別展

飛越地震

中央防災会議報告書より

開期 / 平成21年(2009)

9月15日(火) ~ 10月12日(月)

大震動

飛越地震に直面した人々はどのようにして被害から立ち直っていったのだろうか。

会場: 当館企画展示室

